

中村設計新聞

第八十三号

六月二十日(土) 晴れ

六月も引き続きコロナ対策を行いながら、事務所内で研修を行いました。

○はじめに

当社では第三土曜日に、所員間でクリエイションや体験、見学、勉強会等を行っています。
窓を開け十分に換気を行うなどの新型コロナウイルス対策を講じながら研修を行いました。



○研修内容

今月は日常業務をはじめ設計監理業務に関する情報共有や、図面表現の標準化、完了物件の報告等を行いました。



↑研修風景

○旧加悦町役場庁舎保存活用改修工事

旧役場は京都府指定有形文化財に指定されており、近代建築史上稀な鉄網コンクリート工法があり地域の歴史や文化を伝える重要な建物でもあります。
当社にて平成三十年から改修設計を行い令和元年七月に工事着工、令和二年三月に竣工しました。
今回の研修では、この改修工事を取り上げた与謝野町ケーブルテレビ製作の「令和の大改修」を担当者の説明を聞きながら視聴し、有形文化財の意匠を守りながら耐震改修する為に実施した調査から補強方法等について、所員で情報共有を行いました。



↑旧加悦町役場庁舎(外観)



↑旧加悦町役場庁舎(内観)

※改修工事の詳細については工事かわら版をご覧ください。

○新入所員あいさつ

今年5月に入社させていただきました、川崎美帆と申します。
子供に「ママの仕事かっこいいね」と言ってもらえるように頑張りたいと思います。一日でも早く仕事を覚え、誰にも負けないものを身に着けたいと思いますので宜しくお願い致します。

川崎 美帆

○コロナについて

新型コロナウイルスの影響により一部所員の在宅勤務やリモート研修を行う等、様々な対策を実施してきました。所内会議や建築主との打合せでは長時間にならないように意識することや、リモート研修ではオンライン会議方式での伝え方の難しさを感じました。これから生活様式を取り込んでいきたいと思えます。

○まとめ

否応なしに訪れたコロナ禍に、日々手探りながら業務に取り組んでいる中で、新たな気づきや発見もありました。今後ともウィズコロナで新しい生活様式に移り変わることと求められる設計をしています。

